

報道関係者各位

2017年10月12日

NEWS RELEASE

白鶴酒造株式会社

神戸市東灘区住吉南町四丁目五番五号

白鶴酒造資料館で訪日外国人観光客向けに酒税免税開始

白鶴酒造株式会社（本社：神戸市、社長：嘉納健二、資本金：4億9,500万円）は、2017年10月12日（木）から訪日外国人観光客向けに白鶴酒造資料館で販売する酒類に対して酒税免税の対応をいたします。

年間14万人の観光客が訪れる白鶴酒造資料館は、約100年前に建てられた酒蔵をそのまま使い、等身大の人形を配して昔の酒造りを再現した施設です。訪日外国人観光客に対してはパンフレットの多言語化や外国語対応ができるスタッフの配置、Wi-Fi環境の整備や15か国語対応の館内案内システムの導入など日本酒造りを通して日本の文化、伝統を知ってもらおうと積極的に取り組んでいます。酒造資料館の売店では、2014年10月から消費税免税の対応を実施していましたが、今年10月1日にはじまった酒税免税制度に対して準備が整いましたので10月12日（木）から対応いたします。

販売商品のうち、まずは訪日外国人に人気の商品に絞って酒税免税の対応を実施いたします。

以上

